

## 平成28年度9月補正予算について

### ◎はじめに

今回の補正予算は、南海トラフ地震や台風、集中豪雨等に備え、県民の安全・安心を確保するため、道路や河川、砂防施設の整備など、緊急に行うべき防災・減災対策を県単独で積極的に推進するとともに、熊本地震の課題を踏まえた迅速な対策にも取り組むこととした。

併せて、農林水産業や商工業、観光の振興のほか、医療・福祉の充実など、地方創生のための交付金も最大限活用し、今年度の後半において早急に実施すべき施策を厳選して編成することとした。

### ◎具体的な予算編成方針については

#### ○県民の安全・安心確保対策の推進

##### 1 県単独緊急防災・減災対策事業

南海トラフ地震や台風、集中豪雨等に備えるため、住民の避難や緊急物資の輸送等に大きな役割を果たす緊急輸送道路等の改良や危険箇所の解消、橋りょうの耐震補強等の促進に取り組むこととした。

また、地震や津波、河川の氾濫による浸水被害を防止するため、被害が想定される河川堤防や護岸の改修・補強、水門等の機能改善に取り組むほか、土砂の堆積が著しい箇所の河床掘削を推進することとした。

さらに、海岸や港湾施設の機能強化を図るため、護岸等の耐震補強や陸開・樋門の改修、浮棧橋の補強等に取り組むとともに、土砂災害から県民の生命・財産を守るため、がけ崩れ防災対策を促進するほか、特殊土壌地域等の砂防施設の早期整備に努めることとした。

##### 2 熊本地震の課題を踏まえた計画策定

大規模災害発生時に関係機関が連携して速やかな対応ができるよう、公共土木施設の応急復旧や応急仮設住宅建設のためのガイドラインを策定するとともに、道路啓開計画を改定することとした。

#### ○当面する課題への対応

##### 1 産業の振興

###### (1) 農林水産業の振興

南予地域において、世界有数の品質を誇る柑橘の生産システムを将来に受け継いでいくため、日本農業遺産の認定取得を目指し、関係機関と連携して

推進体制を構築するとともに、農林水産業の担い手を確保するため、「えひめ愛顔の農林水産人」の活動や支援事業等を掲載したワンストップ就業支援ウェブサイトを整備するほか、林業の就業相談会等を開催することとした。

また、「伊予の媛貴海」の認知度向上のための戦略的なプロモーションを展開するとともに、愛育フィッシュの輸出拡大を図るため、日本初となる養殖魚のハラール認証の取得を契機として、マレーシアなどのハラール市場に向けたPR活動や展示商談会への出展支援などを強力に推進するほか、輸出用大型ブリ等の生産技術の開発や中国・台湾向けの輸出拡大に必要な検査機器の追加整備を行うこととした。

## (2) 商工業の振興

イギリスのEU離脱表明等に伴う円高株安など、景気の下振れが懸念される経済情勢を踏まえ、緊急経済対策特別支援資金の新規融資枠を拡大し、県内中小企業者等の資金繰り支援に万全を期することとした。

また、海外での販路拡大を図るため、有望市場として期待されるロサンゼルスで四国フェアを開催するとともに、外国人向け伝統的特産品を開発するための調査・分析を実施することとした。

さらに、県内中小企業や公共交通事業者等の人材確保を図るため、新規学卒者や有資格者等を対象とした合同会社説明会の開催による就職支援に取り組むこととした。

## (3) 観光の振興

「サイクリングアイランド四国」を実現するため、体験ツアー隊による、本県を起点とした四国一周ルート的情報を発信するとともに、県内サイクリング観光の魅力をPRする映像コンテンツを制作し、サイクリストの誘客促進に取り組むこととした。

また、民間の人材を活用した観光誘客体制を強化するため、愛媛版DMOの設立について検討するとともに、「えひめいやしの南予博2016」閉幕記念イベントとして、南予地域における住民主体の持続的な地域づくりに向けたシンポジウムを開催するほか、「みきゃん」の更なる知名度向上と実需の創出を目指し、プロモーションに関する戦略プランを策定することとした。

さらに、松山空港国際線の安定運航を確保するための支援強化に取り組むほか、中国陝西省との友好交流協定を踏まえ、西安市に観光・物産に関する情報発信拠点を開設し、海外との経済交流や誘客促進に努めることとした。

## 2 医療・福祉の充実

### (1) 地域医療の充実

救急医療を支えるドクターヘリコプターの来年2月からの運航開始に向け、

医師の配置や運航業務の委託、運航開始式の開催など、必要な準備を着実に進めることとした。

また、地域の医療ニーズに適切に対応するため、回復期病床への転換を図るための機器整備やICTを活用した地域医療ネットワークシステムを構築するための基盤整備のほか、医療従事者の職場環境改善のための施設整備を支援することとした。

さらに、看護師の育成及び県内定着を推進するため、聖カタリナ大学看護学科開設のための施設整備を支援することとした。

## (2) 福祉、子育て支援の充実

障がい者の自立促進を図るため、授産製品の展示販売イベントの開催やチャレンジショップの運営を行い、授産製品の消費拡大や販売等を通じた障がい者の人材育成に取り組むこととした。

また、児童相談所の法的対応機能を強化するため、弁護士による相談体制を整備するとともに、家庭的環境で児童養護を行うファミリーホームの整備を支援するほか、病児保育施設の整備促進を図り、仕事と子育ての両立支援に取り組むこととした。

## 3 その他

平成33年度の完成を目指し、岩城橋の整備促進を図るとともに、県内移住希望者への支援強化に取り組むため、職の担い手フェアの開催や企業と連携して割引制度の導入を進めるほか、地域密着型プロスポーツの振興を図るため、選手と県民との交流フェスタを開催することとした。

## ◎この結果

平成28年度9月補正予算の総額は、

一般会計	107億	690万円	
	(27年9月)	98億9,702万円)	
特別会計	――		
	(27年9月)	――)	
企業会計		395万円	
	(27年9月)	――)	
合計	107億1,085万円		
	(27年9月)	98億9,702万円)	

であり、これを前年度の9月補正予算後の累計額と比較すると、

一般会計	1 2 6 億 4, 1 3 2 万円	の増 ( 1. 9 5 % の増)
特別会計	7 2 億 9, 0 0 2 万円	の減 ( 5. 1 8 % の減)
企業会計	1 0 億 6, 8 4 6 万円	の増 ( 1. 7 6 % の増)
合 計	6 4 億 1, 9 7 6 万円	の増 ( 0. 7 5 % の増)

となっている。

なお、このたびの一般会計補正予算に充当した財源は、

国庫支出金	8 億	5 5 6 万円
負担金、寄附金等	1 億 5,	7 0 7 万円
その他の特定財源	4 5 億 6,	3 5 3 万円
一般財源	5 1 億 8,	0 7 4 万円
┌ 地方交付税	5,	9 5 2 万円
└ 繰越金	8 億 9,	6 2 2 万円
└ 県債	4 2 億 2,	5 0 0 万円

である。